

令和5年度宮城県高等学校バレーボール競技新人大会開催！

新チームの目標としてきた県新人大会が令和6年1月20日（土）より開催されました。今大会はコロナウイルス感染症対策緩和により応援、観戦の制限がなくなり、大会期間も3日間に戻った大会でした。

本校は1回戦宮城広瀬高校と対戦し、2(25- 7 25-20)0で勝利しました。サーブをはじめとした練習成果を発揮できた1セット目上々のスタートを切りました。2セット目は相手の粘りや攻撃が慣れられてきたことから、競るゲーム展開となりました。勝ちきる1点を全員で取ることをテーマに練習したことをここでは表現出来た試合でした。

2回戦は第4シード尚絅学院と対戦し、0(11-25 10-25)2で敗退となりました。ブレースピード、精度、パワーそれぞれにシード校の力を感じながらの試合でした。粘り強さや通用する技術を表現出来たラリーもあり、今後への期待と課題を学べた試合でした。

次の公式戦は6月の県総体となりますが、また練習を積み重ねて今大会以上のプレーを目指していきたいと思います。応援ありがとうございました。

新体育館での活動開始



令和5年11月新校舎移転に伴い、体育館も同時に移転しました。名残惜しさと同時に、新体育館での活動に心躍らせながら引っ越し作業を行いました。部室も新しくなりましたので、片付け・整理をしましたところ、「宮城第一女子高校」時代から保管されていた横断幕や大会記念パネルが出てきました（写真参照）。1月27日(土)にOG会代表の皆様が来校した際に、今後の対応を検討いたしましたところ、当面現役生で保管させていただきながら、OG会の呼びかけで希望学年、希望者の方にお渡しすることで今後詳細を詰めていくこととなりました。パネルにつきましては以下、大会開催年度と名称、監督名、主将名を掲載させていただきますので、同学年の皆様等で対応についてご検討ください。現役生は新体育館で掲げさせていただいた横断幕の心意気を引き継ぎながら、元気よくプレーしていきたいと思います。

大会名	監督名	主将名	(敬称省略)
-----	-----	-----	--------

第43回県総体（平成6年6月）	監督 大友 博	主将 須田 英理子	
-----------------	---------	-----------	--

平成6年度宮城県高等学校バレーボール男女選手権大会

監督 大友 博	主将 熊谷 直美
---------	----------

第44回県総体（平成7年6月）	監督 大友 博	主将 熊谷 直美
-----------------	---------	----------

第45回県総体（平成8年6月）	監督 大友 博	主将 吉成 綾子
-----------------	---------	----------

第47回県総体（平成10年6月）	監督 久光 洋一	主将 泉田 祐子
------------------	----------	----------

第48回県総体（平成11年6月）	監督 服部 克弘	主将 沢辺 奈津子
------------------	----------	-----------

第65回全日本バレーボール高等学校選手権大会宮城県代表決定戦

監督 大内 昭浩	主将 飯島 菜緒
----------	----------

第67回県総体（平成30年6月）	監督 早坂 功多	主将 佐藤 里穂
------------------	----------	----------



第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会代表決定戦一次予選開催！

新チームスタート時に一つ目の目標とした「第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会代表決定戦一次予選」が令和5年9月9日（土）と10日（日）に県内4会場で開催されました。下記のような結果となり、8年ぶりに最終予選の出場権を獲得できました。

新チームは1・2年生7名と人数的には厳しいチームですが、この夏各自の役割とお互いの生かし方を考えながら「戮力協心」の精神の元、練習を重ねてきました。

県総体ベスト16のチームは今一次予選8ブロックのシードとしてそれぞれブロックに分かれ大会に臨み、我がチームも2回戦からの出場となりました。

2回戦の対戦相手は1回戦南三陸高校をフルセットで下した名取北高校。8月に一度対戦していましたが、勢いに乗せると怖い力のあるチームです。1セット目は自分たちの良さが上回り順調に得点出来ましたが、2セット目は20点台での競り合いになりました。今大会の目標の一つであった「粘り負けしないこと」を表現し、最後まで押し切ることが出来ました。

グループ代表決定戦の対戦相手は白石高校。夏休みの最後に練習試合をしている相手でした。この時はメンバーが揃っていない白石高校との対戦であり、この試合は自分たちの良さを発揮することを確認して試合に臨みました。序盤白石にリードされる展開でしたが、WTOまでに追いつき、競り合いの中からセット終盤キャプテン堀村のサーブから連続得点ができ、25対19で第1セットを先取しました。第2セットも先行される序盤となり、流れを変えるべく3対8でタイムアウトを取ります。このセットもWTOまでに追いつく展開を作り、その後は一進一退で試合終盤まで試合は進み、24対21でマッチポイントを掴みます。ここで粘り強く力を発揮したのは白石高校。同点に追いつき4点連続得点で逆にセットポイントを掴まれます。デュースに持ち込みましたが、ここから両チームともに良さを出し合い、30対30で2度目のWTO。最後は31対32から後藤の落ち着いたサーブから全員で拾って繋ぎ、34対32という熱戦を勝ちきることが出来ました。

この夏を振り返れば、異常な暑さの中対策を立てながら練習を重ねました。メンバーが揃わないときには大学生や高校生に入ってもらいながらゲーム経験を積むことが出来ました。自分たちの努力だけでなく、多くの方々の支えがあつての今回の結果であつたと思います。改めてこの場をお借りして皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会宮城県代表決定戦一次予選会

令和5年9月9日（土） 奥松島運動公園体育館

2回戦	対	名取北高校	2	(25-16	25-21)	0	勝利
決定戦	対	白石高校	2	(25-19	34-32)	0	勝利

令和5年度新チームスタート バレーボール部

県総体が終わり、3年生は部活動に一区切りをつけ、進路活動に集中です。

歌合戦も終わり、いよいよ2年生を中心とした新たなチーム作りの始まりです。

今年は1・2年生総勢7名でのチームスタートです。「戮力協心」の精神の元、今自分たちが何を皆でやっていくかを大切に考え、一步一步進んでいきたいと思います。

まずは9月に行われる全日本バレーボール高等学校選手権大会代表決定戦一次予選に向けて、着実に力を付けていきたいと思います。

新部長 後藤 楓(宮城野中学校出身)

新主将 堀村 愛音(仙台第二中学校出身)

○令和5年度 第72回宮城県高等学校総合体育大会バレーボール競技結果

第1日目 令和5年6月2日(金) 大崎市三本木体育館

対 松島高校 2 (25-6 25-6) 0 勝利

第2日目 令和5年6月3日(土) 大和町総合体育館

対 柴田高校 2 (25-21 25-10) 0 勝利

第3日目 令和5年6月4日(日) 大崎市田尻総合体育館

対 常盤木学園 0 (14-25 19-25) 2 敗退

(シード校)

※以上の結果から、9月に開催されます第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会代表決定戦一次予選にシード校としての出場権を獲得しました。

○今後の主な活動(大会)予定

令和5年公式大会

9月 9 or 10日(土 or 日) 全日本選手権一次予選

10月26～28日(木～土) 全日本選手権最終予選

11月11～12日(土～日) 仙台市民総体

※グループ1・2位のみ12日の試合に進出

令和6年公式大会

1月20～22日(土～月) 県新人大会

4月 県選手権大会(県新人ベスト16進出校出場)

6月 県総合体育大会

カップ戦

8月 仙台大学樫の木杯 3月 三校対抗戦 栗原市協会長杯

5月 佐藤誠吾杯

令和4年度第43回仙台市民総体バレーボール競技行われる

令和4年11月12日・13日仙台市民総体が女子32チームの参加で開催された。

この大会は全日本バレーボール高等学校選手権大会(春高バレー)県代表決定戦を終え、新人チームが揃う顔合わせの大会であり、各チーム新たな緊張感を持った大会。初日は8リーグに分かれての予選が行われた。

11月12日、宮城第一高校を会場に聖ウルスラ学院英智、松島、仙台青陵を迎えての総当たり戦。

試合結果

宮城第一	2〇	25－4	25－7	×	0	松島
宮城第一	2〇	25－8	25－2	×	0	仙台青陵
宮城第一	2〇	25－15	23－25	25－13	×	1 聖ウルスラ 学院英智

グループシード校である聖ウルスラ学院英智は速い攻撃が特徴のチーム。まだ新人チーム始動後間もない中、試合が進むにつれその攻撃連携は冴えを見せ、2セット目を接戦の中振り切られる結果となった。自分たちがさらに安定感を高めていくべき課題が見えた試合であった。

2日目は決勝トーナメント戦が秋保体育館で行われた。初日を各グループ1位で突破してきた8校による試合は、どの試合も熱戦となった。

試合結果

宮城第一	0×	22－25	23－25	〇	2	尚綱学院
------	----	-------	-------	---	---	------

今大会第2シードである尚綱学院は堅守とつなぎの良さから、的確な攻撃を持ち味とする簡単には崩せない試合巧者のチームであり、宮城第一は今大会オポジットにエースを配置し、エース対角やミドルブロッカーから様々な攻撃を仕掛けて得点を重ねていったが、善戦はしたがあと一步のところで突き放される結果となった。

今大会に向けた準備、練習成果をチームとして発揮したが、1月開催の県新人戦に向けて手応えと同時に課題をはっきりと示された形となった大会であった。(顧問)

令和4年度宮城県高等学校バレーボール競技新人大会行われる

令和5年1月20日(金)から岩沼市総合体育館をメイン会場に県新人大会が開催された。年始に行われた全日本バレーボール高等学校選手権大会では、本県代表の古川学園が見事全国制覇を果たし、注目の中での大会となった。

宮城第一は1回戦塩釜高校との対戦となった。

試合結果

1回戦	宮城第一	2〇	25－9	25－13	×	0	塩釜
-----	------	----	------	-------	---	---	----

塩釜高校は伝統である拾いと繋ぎで粘り強いバレーを展開してくることが予想され、集中して試合に臨むことを確認しての試合開始であった。第1サーバー早坂のサービスエースで幸先良く先取点を獲り、開始早々の長いラリーを全員で拾い、最後は主将加藤の強打で攻めきり連続得点とした。ブロックで完全マークをされながらもオポジット鈴木が攻めきり、加藤のサービスエースもあり序盤連続得点で塩釜高校は1回目のタイムアウトを要

求した。

今大会課題の一つとしていたサーブは相手レシーブを崩し、ブロックからスパイクへの流れを作ることができていた。その後も男澤のサイドからの攻撃も交え、試合を有利に進め、セット終盤にはリリーフサーバーとして登場した堀村が連続サービスエースを4本決めセット獲得をぐっと引き寄せ、ミドルブロッカー渡邊のAクイックも決まり上々の滑り出しとなった。

第2セットも第1セット同様のオーダーでスタートした。鈴木のリフトからの攻撃で先取点を獲るも、ブロックのこぼれ球処理、連携やジャッジミスが続く嫌な感じの序盤となった。ここでレシーブを丁寧に戻し、齋藤のクイック、男澤のコース打ちと流れを立て直していった。拾いと繋ぎが落ち着き、加藤、鈴木、男澤のサイドアタック、齋藤のクイックが連続で決まり逆転、流れを掴んだ。リリーフサーバーで登場した伊藤は1セットの修正を図り、安定したサーブとパスでこの流れをしっかりと繋いでいった。男澤のサービスエース、加藤のブロックと着々と加点し、最後は堀村のサーブから加藤のブロックを弾き飛ばすスパイクでこのセットも獲り、2回戦進出となった。いよいよ古川学園戦である。

2回戦 宮城第一 0× 11-25 9-25 ○2 古川学園

第1シードの古川学園はあらゆる面でリスペクトするチームであり、だからこそ自分たちの力を発揮することに集中していこうとテーマを持って試合に臨んだ。開始早々渡邊がブロックポイントをあげ、早坂がレシーブで粘るなどしたが、中々得点には繋がらず焦りからかミスが目立った。古川学園の強打に対してブロックとディグで粘り、鈴木のパックアタック、リフトからスパイクを決め宮城第一らしさを見せる。続いて男澤のコース打ち、加藤の強打も決まり得点差はあるものの集中した試合展開で第1セットを終えた。

第2セット連続失点からスタートするも、鈴木の強打で点を取り返した。男澤と早坂のトスも合い、ストレートスパイクがきれいに決まり序盤は5対5で試合が進んだ。ここで高い打点から打ち込まれるサーブでレシーブが崩され、古川学園のブロード、移動攻撃に一気に得点され、5-16となりタイムアウトを取る。タイムアウト後、古学リフトからのクロススパイク、ライト移動攻撃を連続で齋藤がブロック、ミドルの攻撃も止めてミスを誘い、連続3得点とした。しかし、ここから前に落ちるサーブで崩され、攻撃が単調になったところを逆に連続でブロックポイントを獲られる。堀村の好レシーブで粘るも、最後は強打を打ち込まれ試合終了となった。

大会結果は2回戦敗退となったが、練習成果を大会通して発揮出来たことは今後の自信に繋がると考える。と同時に、試合展開を有利に運ぶためにも、自分たちの攻撃力を生かすためにもレシーブと繋ぎ、サーブの精度アップが必要であると考えます。

次の公式戦は6月の県総体となるが、部員全員で楽しみな大会となるよう、「戮力協心」を忘れることなく、力をつけていきたいと思う。 (顧問)

第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会一次予選行われる

10月27日(木)から、第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会宮城県代表決定戦がセキスイハイムスーパーアリーナで開催されます。

夏の県総体ベスト8チームと一次予選を通過した8チーム、合わせて16チームで県代表の切符を争う大会です。

9月10日(土)、気仙沼市総合体育館においてこの一次予選Aゾーンの試合が行われました。その様子をここにお伝えいたします。

○1回戦 宮城第一 2○ 25－15 25－9 ×0 中新田

中新田高校はつなぎの良いレシーブから高さのあるセンター、サウスポークライトからの攻撃が特徴のチーム。試合前の練習から、この攻撃は要注意であるようにみえた。宮城第一は新チームとして初公式戦であり、どのようなスタートになるか不確定な面があったものの、両エースの出来は良く、両サイドから得点を重ねた。また、夏の練習テーマの一つであったサーブが効果的に決まり、連続得点に繋がった。

○2回戦 宮城第一 2○ 25－14 25－13 ×0 仙台西

夏休みに一度練習試合で対戦していたが、その際は相手校の3年生が揃っていなかったこともあり、その際の結果は考えずに試合に臨んだ。粘り強いレシーブからライト攻撃を柱に、センターのタッチプレーなど強弱組み合わせた攻撃を仕掛けてくるチームであり、勢いに乗せないことも試合のポイントと考えていた。

この試合も効果的だったのがサーブであった。自信を持って打てていたことがコートエンドを攻めることに繋がり、相手の技術だけでなく、精神的にも押していくことが出来た。

サーブで崩し、サイドに偏らないセンターからの速い攻撃を有効的に使えたことが、相手レシーブ陣を崩すことに繋がった。

○決定戦 宮城第一 0× 17－25 22－25 ○2 東陵

7年ぶりの最終予選進出を目指し、この夏の練習を重ねてきたが、あと一步届かない結果となった。

試合序盤から固さがあり、相手ペースで試合が進んだ。流れを変えるまでにはならないものの、落ち着きを取り戻して第2セットに入った。

序盤から両エースの強打とミドルブロッカーのクイックを織り交ぜ、自分たちらしさを発揮して試合を進めた。なかなかリードする試合展開を作ることは出来ないまでも、20点台の勝負になる流れを粘りの中で作っていった。

しかし、18－20の時に負傷アクシデントによりメンバーチェンジを余儀なくされた。アクシデントによる選手変更は練習から準備をしていたが動揺は隠せない。

この場面でチームのテーマとしてきた「全員で粘る」、拾って繋ぐバレーで21－21と追いつき、相手チームはタイムアウトをとる。

ここからというタイミングであったが、タイムアウト後のサーブミス、逆にサービスエースを取られて連続失点 21-23。さらにクイックを決められ 21-24 と連続得点されるが、クイックを止め返し 22-24。さらにラリーを粘ったものの、最後はブロックが力んでネットタッチとなり 22-25 で試合終了となる。

様々な出来事があり、準備してきたことで対応はしたが、ゲームを取りきる力、上位校に挑むためには、もう一段階チーム力を上げることが宿題となった試合だった。

次は 11 月の仙台市民総体。今回の経験を生かすべく、練習にまた取り組みます。

(顧問)

次に向けて

2 年 鈴木 香帆美

私たち宮一バレーボール部は「戮力協心」を基に毎日活動に励んでいます。

九月の春高予選では、本戦に勝ち上がることは出来ませんでした。

ベスト 8 を掴むことが出来る大会はあと三つしかないの、今まで以上に精を出して練習に取り組んでいきたいと思います。

また、支えてくださる顧問の先生方や保護者の方々に感謝の気持ちを忘れず、バレーボールだけではなく、日々の生活でも恩返しをしたいと思います。

応援よろしくお願いします。

1 年 男澤 和佳

私は宮城第一高校バレーボール部で、少しでもチームの力になれるように頑張りたいことがあります。特にサーブカットです。サーブカットが乱れてしまうと次の攻撃がワンパターンになってしまうからです。そのために普段の練習では、セッターの位置を意識して取り組みたいと思います。

試合に勝つために、いつでも目標を高く持ち、仲間と協力しながらプレーしていきたいと思います。

バレーボール部夏季休業中も練習と勉強に邁進中！！

7月26日から8月18日までの短い夏休みが始まりました。

7月中の午前は課外授業（希望者）と各自の課題（学習）へ取り組む時間帯。

午後は9月に行われる全日本バレーボール高等学校選手権大会代表決定戦一次予選に向けた練習と練習試合。コロナ感染者数が過去一番という報道の中、一人一人欠けることのないように気を遣った行動を大切に過ごしています。今年も残念ながら合宿は行いませんが、他校の皆さんの胸を借り、刺激をもらいながらチーム力向上に努めていきたいと思います。

OG 会からのご支援で、バランスボールとクレイジー（イレギュラー）ボールを使った練習を取り入れはじめました。OG の皆様、日頃よりご支援いただきありがとうございます。良い知らせができますよう、現役生頑張っていきます。



ここで部員から活動について一言ずつ述べさせていただきます。

2年生 木皿 葉子

宮一バレーボール部は2年生9名、1年生6名の計15名で日々『戮力協心』に努めて活動しています。私はバレーボール未経験者で入部し、最初は戸惑うこともありましたが、保護者の方のサポートや顧問の先生方からのご指導、そしてチームの明るい雰囲気にも力添えを受けて、今は楽しくバレーボールを学んでいます。この恵まれた環境への感謝の気持ちを忘れず、これからもチームの一員として目標達成に尽力します。

1年生 鈴木 来佳

私は中学時代のバレーボール部の先輩に憧れて宮一バレーボール部に入部しました。宮一バレーボール部は横断幕に『戮力協心』を掲げ、日々の練習に励んでいます。顧問の先生方の熱心な指導と優しい先輩、仲の良い同級生とともに明るく楽しくバレーボールに取り組んでいます。まだまだ私の知らないバレーボールの知識やできていない技術も多いので、練習一回一回を大切にしたいと思っています。

令和4年度宮城第一高等学校 バレーボール部

新チーム始動！！

県総体が終わり、3年生は部活動に一区切りをつけ、進路活動に舵を切ります。

ここからは2年生を中心とした新たなチーム作りの始まりです。

チームとしては県総体時、2年生が多くスタメンで経験を積んだことを生かしていきたいと思います。

9月に行われる全日本バレーボール高等学校選手権大会代表決定戦一次予選に向けて、一人一人の良さをさらに高めながら、チーム一丸パワーアップしていきたいと思います。

新部長 伊藤 楓菜 （山田中学校）

宮一バレーボール部は「自主自律」の校風のもと、一人一人が主体性を持ち、県ベスト8という目標に向かって、互いに高め合う活動を進めていきます。勉強との両立は簡単ではありませんが、顧問の先生方や保護者の方々に支えていただきながら、今までの悔しさも糧にしながら日々練習していきます。

これからの試合をチーム全員で戦い抜いていくので、応援よろしくお願いします。



新主将 加藤 愛稀 （成田中学校）

宮一バレーボール部は「戮力協心」をモットーに活動しています。

勝つことにこだわりを持ち、技術向上に努めていきます。

自律した行動ができる人になることが私たちの最終目標だと思います。

日々練習し、充実した高校生活を送ることができる部活動です。

チーム全員で、全力で頑張ります！

令和4年度宮城第一高等学校 バレーボール部

活動日時 火～金曜日 放課後18:30まで 土・日は割り当てによる活動
※試合期(大会に近い期間)は土日に練習試合実施のため、休日を平日
に変更する場合あり

スローガン 「戮力協心(全員の力を結集し、一致協力して物事に当たること)」

令和4年度第71回宮城県高等学校総合体育大会バレーボール競技結果

期日 令和4年6月3日(金)～

会場 大崎市三本木体育館(6/3)、大和町総合体育館(6/4)

結果 2回戦 対 伊具高校 2(25-2、25-1)0
勝利

3回戦 対 ウエルネス高校(S) 0(8-25、16-25)2
敗退

戦評 大会初日は、2回戦第2試合から出場となった。初戦の硬さが試合前の練習時にはあったが、試合に入るとサイド攻撃を中心に圧倒的な攻撃力を発揮し、試合展開は宮城第一のワンサイドゲームとなった。2日目の3回戦は、シード校のウエルネス高校戦となる。

大会2日目は、第4試合のため学校で練習を行い、準備・対策を立てた上で試合に臨んだ。第1セット、宮城第一のサーブから試合開始。相手エースをマークしていくことをチームで確認して試合に臨んだが、そのマークを上回る正確な攻撃で試合序盤、連続して得点を重ねられた。その後、点には繋がらないものの、課題であったサーブレシーブが崩されることはなく、ラリーに持ち込んだが、宮城第一のサイドからの攻撃をウエルネスは集中して拾い、レフトエースのオープン攻撃で得点につないでいった。

第1セットは8対25でセットを失う。

第2セットは相手攻撃にも慣れ、さらにラリーの展開が増える。ライト攻撃で幅をきかせて攻めるが、ウエルネスの守備は崩れることなく、最後まで粘り強く試合を進めたものの、16対25でこのセットを失い、3回戦敗退となった。

コロナ禍の中、練習試合の開催制限また自粛ということで、思うとおりの活動はできなかったが、部員一人一人の大会への思いは、大会参加を全員で果たすことに繋がり、また精一杯のプレーに表現できていたと感じる。

新チームの課題、宿題は多く残されたが、3年生の思いを引き継ぎながら、全日本選手権予選、県新人戦に向けてチーム作りを進めていきたいと考える。

大会予定

令和4年 9月10日・11日	全日本高校選手権一次予選
10月27日～29日	〃 県代表決定戦
令和5年 1月21日～23日	宮城県高等学校新人大会